

学会要旨

日本薬学会第 131 年会（静岡）, 2011 年 3 月

29P-0115

医薬学データ用統計解析プログラム、MEPHAS の更新について

○福井 大介¹, 田 雨時², 岡本 晃典², 川下 理日人^{2,3}, 後藤 直久³, 安永 照雄³,
高木 達也^{2,3} (¹阪大薬, ²阪大院薬, ³阪大微研)

【研究の背景と目的】当研究室が開設した医薬学データ用統計解析 Web サイト「MEPHAS」は、2002 年の公開以来順調に利用者数を伸ばし、現在では年間のアクセス数は約 18,000 に上る。しかし統計的に妥当でない解析を実行しようとする利用例も見受けられることから、統計初学者が本サイトを利用することにより、統計学の有用性への理解を深め、興味を覚えるような、統計学の導入となり得るサイトへと更新することを目的に研究を実施している。

【方法】サイトの再構築は、「調査」、「開発」、「評価」の三つの作業に分けて実施を進めている。今年度の「調査」として、まず現行の「MEPHAS」にて統計解析を実施するシステムとして稼働しているプログラム、特にユーザーが入力したデータを受け付けるプログラム上の問題点と、Web サイトをユーザーが利用する上での問題点の探索を行った。「開発」として、「調査」で挙げられた問題点の解決に向けたプログラムの作成、及び Web サイト自身の更新の検討を順次進めた。

【結果】Web サイトとしてのユーザビリティを高めること、また Web サイトの使用が統計解析の理解促進につながることを念頭に、統計解析プログラム使用時の特に入力データにおけるエラー検出のためのプログラムを作成し、また、それらエラーをユーザー側へ伝えるための表示を検討した。現行の「MEPHAS」では実行できない多重比較法の追加のためのプログラムの作成を行った。

【考察】現在は開発中であり稼働させていないが、稼働可能になり次第、アクセス可能範囲を限定した試験公開を行い、より洗練に努める予定である。

【謝辞】本研究は平成 22 年度より厚生労働省医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究経費の支援を受けて実施している。

